

# 「会社の管理責任は?!」 すべてを社員の責任にするのは許さない!

10月4日、A通路1号車付近で社員が緊急用の担架格納箱が作業用黒板で邪魔になり扉が開閉できない状況に気づき、作業用黒板と工具ロッカーを4m程度東方に移動しました。その時に不幸にして社員の一人が親指をはさみ傷を負ってしまいました。

翌朝、その事を聞いた管理者は、作業前に急遽その社員を業務から外し医者に行くよう帰宅させました。幸い大事にはいたらず軽い打撲程度ですみました。

しかし、10月6日の朝の点呼で管理者は「先日上長の許可を得ずにロッカーを移動させたという事象が発生しました」「移動させる場合は上長の許可を得ること」「勝手に移動させると車両限界に支障をきたすおそれもある」ということで、全社員に注意喚起を行うと同時に作業用黒板と工具ロッカーを移動させた社員を悪者にしようとしました。

## いけないというなら何故ロッカーや黒板はもとの位置に戻さないの? 毎月行っている安全パトロールは何のためにやっているの?

A通路1号車付近に設置してある担架格納箱の扉が開けられない状態になっていたのは以前からです。会社は交検庫内に危険箇所がないのか、作業に支障をきたす物がないのか、社員が安全に作業を施行できるように安全パトロールを行っています。交検庫内の安全パトロールは所長をはじめ多くの管理者が参加して危険箇所をチェックしています。それでもA通路1号車付近に設置してある担架格納箱の扉が開けられない状態になっていたことは見過ごしてきました。社員は、緊急時に担架が使えない状態はまずいと考え改善しようと作業用黒板と工具ロッカーを移動させたのです。ごく当たり前の行動です。しかし、会社のトーンは「勝手に移動するな」と社員を断罪しています。やっぱり、会社の管理責任が問われるのをさけたいからでしょう。全てを社員の責任にすることで会社の管理責任をごまかそうとしたとしか思えません。その証拠に担架格納箱が開けられるように移動した黒板とロッカーは今もそのままの位置に設置されています。その事が何が正しかったのかを物語っています。

会社は、先日の側カウルの取付間違いでもそうでしたが何かあればその原因をすべて社員に押しつけヒューマンエラーでかたづけようとしています。事態が発生した背景や根本的な原因には目をくれようとしません。会社の姿勢は何時も同じです。明るい職場をつくるためにはこれではだめです。みんなで声をあげていきましょう。